

平成30年1月23日
水管理・国土保全局防災課
道路局 国道・防災課
気 象 庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

- 今日23日から27日(土)頃にかけて、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、断続的に強い雪が降り、降雪量がかなり多くなるおそれがあります。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

別添もご参照ください

なお、北陸地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局においても緊急発表を行っています。

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

防災企画官 田中 克直(内線35762)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室

室長 太原 芳彦(内線3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(過去の大雪における被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室

企画専門官 福本仁志(内線37812)

課長補佐 福崎昌博(内線37662)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

- 今日23日から27日(土)頃にかけて、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、断続的に強い雪が降り、降雪量がかなり多くなるおそれがあります。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】 23日17時00分時点 平成30年1月23日から27日頃にかけての大雪

< 降雪量の予想 > (多いところ)

	明日24日18時までの 24時間降雪量(センチ)	明後日25日18時までの 24時間降雪量(センチ)
北海道	40	30～50
東北	80	70～90
北陸	100	80～100
関東甲信	70	60～80
東海	80	40～60
近畿	60	40～60
中国	40	20～40
四国	15	5～10
九州北部 (山口県を含む)	15	10
九州南部	3	

降雪は、27日(土)頃にかけて続く見込み

- 大雪、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害に厳重に警戒。低温や路面の凍結、なだれなどに注意。
- 詳細な気象情報については、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)をご覧ください。

【2. 過去の大雪における被災事例】

平成28年1月24日から25日にかけての大雪

< 国道8号や県道等で合計200台以上の立ち往生が発生 >

- 平成28年1月24日から25日にかけて北陸地方整備局管内全域で降雪となり、特に新潟県見附市・長岡市上空には断続的に強い雪雲が流れ込み、気象庁長岡観測所で観測史上4位の降雪を記録しました。
- 当該地域の各所で圧雪路面によるスタック車両が発生。これに並行する高速道路の通行止めや、気温の上昇による圧雪路面の悪化が重なり、長時間の渋滞が発生。人流・物流に大きな影響を与えました。



平成28年1月26日(火)12:00頃
長岡市灰島新田付近の圧雪・渋滞状況

【3. 整備局など現場の対応状況】

- 各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。